7 月のおたより

このお便りが着く頃には、参議院選挙の結果が出ていることでしょう。今回の候補者達の主張では「日本人ファースト」といったフレーズが盛んに使われているのが気になりました。そのフレーズとセットになるのは、外国人が日本人以上に優遇されているという真偽不明の情報に基づくものです。つまりそれらの存在で自分たちが割を食っているという論理。同じような理屈は、これまでも人知れず生きづらさを抱えている人々に向けられてきたもので、たとえば孤立した人々やひきこもる当事者に対する偏見も同じような心理が働いているように思われます。「働かざる者…べからず」というおなじみの非難めいた言葉。「共生社会」が良いことだとわかっていても、いざ自分に利害が及ぶとなれば、もろくもその建前は崩れます。

第二次大戦後に国際社会は大きな教訓を得て「世界人権宣言」を採択しましたが、いままさにその逆行現象を見るような国際情勢で、その影響が日本にも色濃く表れているかのような今回の選挙。少なくとも身近で困難に直面している人々の権利を守るのが家族会の役割ではないか、そう心引き締める思いになります。

（K）

＜7 月度学習会内容＞

・日時：7 月 26 日（土）13：30～

・会場：新設　あわの風「open 暖話室」（館山市北条 1170-3）

・テーマ　ひきこもり支援の事例にみる希望の道筋

「当事者研究」的アプローチで考えてみる

今年のはじめ厚労省が発表した「ひきこもり支援ハンドブック」では、多様なひきこもりの背景と状態、多様性に応じた支援 30 事例を示しています。それらの一つひとつは、これまでの経験を踏まえたかなり具体的なプロセスをたどりながら解説するという内容になっています。そのうちのいくつかを通して、実際の可能性や有効性あるいは別の方法などを参加者で話し合ってみたいと思います。

（16：30 終了予定）

ご参加は無料、ご予約不要、入退室も自由ですのでお気軽にお越しください。

<お問合せ先>　〒294-0045 千葉県館山市北条 1170-3　ＮPO 法人あわの風 代表:加藤　峰生

☎0470-29-3840　携帯 090-2335-1338　e-mail : contact@awanokaze.org

※8 月の家族会はお休みとなります。9 月の開催は 27 日（土）です。